

メディア・リテラシーと人権

メディア・リテラシーとは、インターネットやメディアが発信する情報をそのまま受け取るのではなく、
自らの判断で主体的に読み解き、活用する力のことです。

インターネットなどでいじめや差別につながる情報を発信・拡散することのないよう、
人権の視点からメディア・リテラシーについて考えてみませんか。

メディア・リテラシーが問われる実例

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、パルプが輸入できなくなるとい
ううわさがSNS上で拡散されました。その結果、トイレットペーパーが品薄に
なるという事態になりましたが、実際はデマでした。



メディア・リテラシーは なぜ必要?

情報をそのまま鵜呑みにしてしま
うと、誤った情報を広めたり、誰
かを傷つけてしまったりする可能
性があります。インターネットをは
じめ、さまざまなメディアから発信
された情報には、発信者の意図が
含まれています。情報は多面的に
分析することが大切です。そこで、
市内すべての小・中学校では、メ
ディア・リテラシー養成を通じた人
権教育を推進しています。

メディア・リテラシー養成を通じた人権教育の授業を受けた児童・生徒の感想



インターネットに載っていることは、全
部が本当ということではないとわかり
ました (小学3年生)

自分でも気を付けてインターネットを使っているつもりでしたが、
自分も間違った情報を信じてしまい、それを拡散していたのかなと
思いました (中学2年生)



小学3年生の授業



中学2年生の授業

じんけんフェスタ2021

アルコール依存症、モラルハラスメントなどを取り上げた映画「カノン」を上映。併
せて、医師の猪野亜朗さんによるアルコール依存症についてのビデオメッセージ、人
権啓発団体の活動紹介動画の上映もあります。そのほか、認知症についての講演会
なども同日開催します。

日時 11月28日(日) 10:00～16:00

場所 文化会館第1ホールほか

申し込み 11月12日まで。詳しくは広報9月下旬号をご覧ください

申し込み専用
フォーム



(C) 2016「カノン」制作委員会

STOP!
コロナ差別

新型コロナウイルス感染症を理由としたいじめ
や誹謗中傷、差別的な行為といった人権侵害は
決して許されません。インターネットやメディア
の情報を過信せず、正しい知識をもとに、私た
ち一人ひとりがお互いの立場に立ち、思いやり
の心をもって支え合いましょう。

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は

人権・同和教育課 ☎354-8253 FAX354-8308

人権センター ☎354-8609 FAX354-8611

人権・同和政策課 ☎354-8293 FAX354-8611